

聖観寺

聖観寺は、天台宗の寺院で、小久保山大悲院と号し、今市村高蔵寺の末寺であった。本尊は観音で、その寺号から、おそらく聖観音菩薩像を安置していたものと思われるが、明治初年の廃仏毀釈に際して廃寺となった。

現在は、その痕跡はほとんど残っていないが、鐘楼があった塚がその唯一の遺構となっている。

なお余談だが、小江川の地名は、鎌倉時代末期には「武蔵大江」といい、室町時代の正平七年足利尊氏の袖判下文には「小江郷」との記載があり、「小江川」の地と考えられている。



聖観寺跡に残されている石仏群